

仙台市では市内の公園照明灯約3,500灯の維持管理費低減や環境面での効果をふまえ、照明灯のLED化を計画的に導入しています。これまで新設や更新の際に約10％はLED化してきましたが、このたび市内約700公園を対象に大規模なリニューアルを実施。本事業は、自治体まとめ発注形式の業務委託事業、ESCO事業、リース事業のうち、業務委託事業により2033年3月までの契約で進められます。

仙台市では「仙台市環境行動計画」にもとづき、さまざまな面から環境負荷の低減に取り組んでいます。市内公園照明灯のLED化も同計画における「省エネ・高効率機器の導入」の一環として取り組まれたものです。安定器にPCB含有の可能性がある昭和53年以前に開園した約140公園を優先的に施工し、以降は設置年度順にリニューアルを進めていきました。



【物件概要】
所在地：宮城県仙台市
対象施設：仙台市内約700公園
施主：仙台市
設計：東芝エレベータ(株)
施工：産電工業株式会社、太平電気株式会社
竣工：2024年上期
契約期間：2033年3月31日まで



榴岡公園 園路のLED公園灯①による照明。

市内約700公園、約1,900台超の公園灯をリニューアルし、使用エネルギーとコストを大幅に削減。

今回の仙台市公園灯LED化における業務委託事業で対象となった公園の数は約700、リニューアル台数は約1,900台を超える計画になりました。事業主の東芝エレベータが調査、施工、産廃処理において市内業者に発注し、綿密に連携を図り、高い安全性と品質に配慮しつつ環境改善、地元貢献、景観を重視しながら事業を進めました。

仙台市は公園灯の既存意匠を非常に大事にしており、既設器具の形状から大きく変わらないように器具を選定。施工にあたってはイベントなどと重ならないよう仙台市民の生活を第一に考えた日程のもとで実施。

公園灯型については既存ポール径に応じたLED公園灯へ、デザイン灯型については既存形状に合ったLEDランプへリニューアルしました。これにより大幅な環境負荷の低減、電気代の削減を図りました。

また電材卸商社、維持管理会社も仙台市内の実績豊富な業者を選定。事業全体において市内経済波及効果を最大限図っていることも本事業の特徴で、維持管理は2033年まで長期契約となっており、その対応は地元の電気工事が担い、修繕等においては市内工事がエンジニアリング対応を行います。



リニューアル用LEDランプ③

主な掲載器具一覧					
設置場所	器具名（品名）		形名	台数	備考
公園内	① LED街路灯リニューアルタイプ250W形水銀ランプ器具相当（公園灯）		LEDG-10831N (K)	約300	消費電力：37.3W
	② 全周配光LED街路灯リニューアルタイプ（陣笠）250W形水銀ランプ器具相当（公園灯）		LEDG-10841N (S)	約300	消費電力：91.0W
	③ 街路灯リニューアル用LEDランプ（公園灯）		LDTST1L-G-E39	約30	消費電力：71W



榴岡公園 園路沿いのLED公園灯①②による照明。



榴岡公園 園路のLED公園灯①による照明。



榴岡公園 園路のLED公園灯①による照明。

西公園 LED公園灯③による照明。